

# 保育園・小中学校のフォローアップ除染は

## 町再調査・再除染を実施

**問** 保育園・幼稚園・小中学校の除染をしたが、まだ空間線量の高い所が残っている。ある保育園では除染後でも0.75μSv/hという高い測定結果が出ている。除染後でも高濃度箇所が残っているのはなぜか。

**環境課長** 再汚染が原因と考えられる。

**問** 保育園・幼稚園・小中学校は、子どもたちが安心して学び、遊べる環境にする必要がある。保育園・幼稚園・小中学校の放射能の再調査を行い、高濃度箇所の再除染(フォローアップ除染)をする考えは。

**環境課長** 町では、これまで2回除染を行った。局所

的に十分な除染効果が得られていない場所もある。今後再調査を実施し、除染効果が得られていない場所についてフォローアップ除染を行っていく。

# 食品の放射性物質の調査について

## 町 給食は100Bq/kg以下で管理

**問** 保育園、小学校給食の放射能測定を町の計測器で行っている。検出下限値(25Bq/kg)以下ですが、10Bq/kgという結果も出てくる。給食まるごと検査で

数値が出るのは異常です。精度の高いゲルマニウム半導体測定器で測定するべきでは。

**環境課長・学校教育課長** 国の基準100Bq/kg以下で管理しているのが問題ない。

**問** 給食検査は、保護者の方に安心してもらうためのものです。管理基準は、100Bq/kg以下でよいのか。

**町長** 今、保護者の方をみていると、実に安定しておられる。子どもたちの健康に対し、これまで同様の体制をとり、改善すべきは検討する。

**問** 町の放射能測定室で測定した食品の測定結果を町のホームページで公表しないのか。

**環境課長** 自家消費する食品を検査しているが、市場に流通している食品との混同による風評被害を避けるため、公表していない。



安心して給食を食べさせられるか

保育園名	測定日	放射性セシウム Cs137、Cs134合計	備考
黒田原第1	3月11日	不検出 3.0	検体3/3~3/9
黒田原第2保育園	3月11日	不検出 8.0	検体3/4~3/10
芦野保育園	3月12日	不検出 4.0	検体3/5~3/11
伊王野保育園	3月13日	不検出 0.0	検体3/6~3/12
那須高原保育園	3月16日	不検出 6.0	検体3/8~3/12
千歳保育園	3月17日	不検出 3.0	検体3/10~3/16
大同保育園	3月19日	不検出 10.0	検体3/11~3/17
高久保育園	3月19日	不検出 5.0	検体3/12~3/18

※検出下限値 25Bq/kg



小学校の除染